

編集部に寄せられるお便りの中には、絵本選び以外の質問もたくさん。「抑揚はつけないとダメ?」「淡々と読むのがいいと聞いた…」など、特に質問の多かった“読み方”について答えていただきました。

？
質問

同居の両親に読み聞かせを聞かれるのが恥ずかしいです。普通に音読するだけでもいいですか？

(3才男の子のママ)

お答え
します

大きな読み方は必要なし
少しの工夫で楽しく読んで

よくご質問を受けるのですが、読み聞かせに大きな演技は必要ありません。イメージを押し付けることにもなりかねないので、おすすめはしていません。親子で読みあうことで気持ちや場を共有することが大事なので、普通の音読で十分です。慣れて恥ずかしさがなくなってきたら、たとえば急いでいる場面は早口にする、擬音語は少し声を大きめにするなど、スピードと音量だけ変えてみるのも変化が生まれて、きっと楽しく読めると思います。

答えてくれたのは 絵本と図鑑の親子ライブラリー ピブリオキッズ 司書の安藤さん

拡大版

ぴったりが見つかる

① 親子の絵本時間

今月の
質問

出産や育児の喜びを感じられる絵本を知りたいです。
子ども向けというより、私が時々見て復活したいです。

(2才男の子のママ)

お答え
します

男の子ママが涙せずにはいられないのが、

ども目線のまっすぐな言葉は、
谷川さんならではの。印象的な写真も胸に迫ります。

『かしの木の子もりうた』(※1)。やんちゃな息子に振り回されても、成長しても、「だいじなだいなわたしのあかちゃん」…。母の深い愛と美しい絵が感動的です。最後はやがてその子も親になり、命のつながりも感じられます。また、谷川俊太郎さんの詩がついた『子どもたちの遺言』(※2)は、すべての親御さんに読んでほしい写真詩集。誕生から成人まで、各年代の子



(※1)
原作:ロバート・マンチ
文:細谷亮太 絵:いせひでこ
岩崎書店

番外編

子どもにも読んであげたい
『あなたがうまれたひ』

あなたが生まれた日、この世界は…?すべての子の誕生を祝福してくれる地球の不思議を、壮大なスケールで描きます。子どもが読めば、自然科学に興味を持つきっかけや「自分って何?」の発見にも。



さく デブラ・フレイジャー
やく 井上荒野
福音館書店



(※2)
谷川俊太郎・詩 田淵章三・写真
佼成出版社

答えてくれたのは 絵本と図鑑の親子ライブラリー ピブリオキッズ 司書の安藤さん